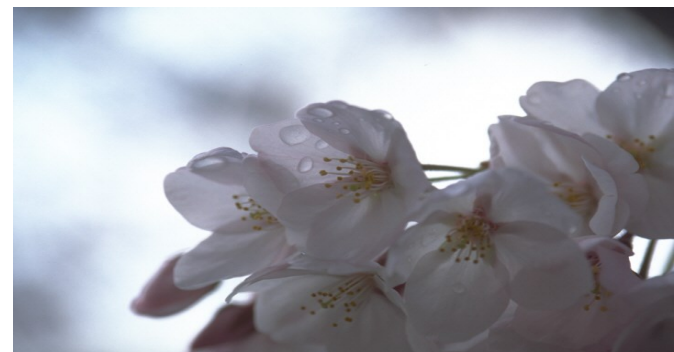


第158回キヤンサーボード

第2回 **地域連携**
カンファレンス



日時：2016年2月2日(火)

18:00～19:00

場所：横浜市立大学附属病院4階第2・3会議室

JR「新杉田駅」、京浜急行「金沢八景駅」より
シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

「国の推進する地域包括ケアシステムは、住み慣れた自宅や地域で、家族や友人とふれあい、出来るだけ普段どおり、自分らしく過ごすことを目指した仕組みです。こうした中、がん患者さんも自宅での療養を選択するケースが増加してきています。反面様々な医療・介護・暮らしに関する不安を抱いている方もいます。こうした不安を軽減するため、地域ぐるみで医療、介護、暮らしを多職種で支えていく仕組みづくりをしていく必要があります。今回、在宅療養に向けて地域薬局薬剤師、小規模多機能型居宅介護サービス活用し、多職種協働で在宅療養を実現した患者様の事例を通して、これからの多職種連携の在り方を一緒に考えてみませんか。」

演 者：横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科 講師 後藤 歩

事例提供者：横浜市立大学附属病院 看護師 清田 みゆき

発 言 者：みらい在宅クリニック 院長 沖田 将人
サン薬局在宅薬物治療支援部 部長 奈良 健 (薬剤師)
森 麻美子 (薬剤師)
複合型サービスふくふく寺前 管理者 小菅 清子

Hot tea & coffee
ご用意しております

主催：横浜市立大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
共催：横浜市立大学附属病院医学・病院企画課, 医事課・地域連携